

# 会 議 議 事 録

1 会議名	第11次第4回長岡市廃棄物減量等推進審議会
2 開催日時	令和2年2月18日（火曜日） 午後2時から午後3時10分まで
3 開催場所	寿クリーンセンター2階会議室
4 出席者名	<p>合計34名</p> <p>○審議会委員（17名）</p> <p>会長：馬場省吾 副会長：仁木正哉</p> <p>委員：小林美枝子、菊地紅子、元井明美、鷺尾博良、笠原絹子、山添美幸、榊原眞知子、関さとみ、井上静子、岡村あつ子、竹内祐貴、三澤美恵子、森康二、林隆生、鈴木正勝</p> <p>○事務局（17名）</p> <p>環境部長：若月和浩</p> <p>環境部次長（環境施設課長）：野口明夫</p> <p>環境政策課 課長：宮島義隆</p> <p>環境施設課 課長補佐：酒井 億</p> <p>環境施設課 課長補佐：武内 豊</p> <p>鳥越クリーンセンター所長：吉井義勝</p> <p>環境業務課</p> <p>課長：小林伸治、課長補佐：広田高志、総括副主幹：久保倉 淳</p> <p>減量推進係長：小林 貴、主査：中村明子</p> <p>山古志支所市民生活課長 : 今井勇一</p> <p>小国支所市民生活課主査 : 坂田 晋</p> <p>和島支所市民生活課主任 : 安立 篤</p> <p>栃尾支所市民生活課環境担当係長 : 斎藤 努</p> <p>与板支所市民生活課環境担当係長 : 井村昭夫</p> <p>川口支所市民生活課主査 : 大淵雅弘</p>
5 欠席者名	委員：笠井久子、大本貴之、須藤由彦

<p>6 議題</p>	<p>1 あいさつ  2 報告事項  (1) 有害危険物の名称変更について  (2) 鳥越クリーンセンターの火災について  (3) 小型充電式電池の回収について  (4) 食品ロス削減に向けた今後の取り組みについて  3 議題  令和2年度長岡市一般廃棄物処理実施計画について  (1) 令和2年度ごみ発生量と資源化量及びリサイクル率(市内)  (2) 令和2年度長岡市一般廃棄物処理実施計画(案)  閉会  4 その他  ごみの減量と分別意義の浸透について(自由意見)  5 閉会</p>
<p>7 審議結果の概要</p>	<p>第11次4回目の審議会。令和2年度ごみ発生量と資源化量及びリサイクル率(市内)及び令和2年度長岡市一般廃棄物処理実施計画(案)について意見を伺った。事務局が策定した令和2年度ごみ発生量と資源化量及びリサイクル率(市内)及び令和2年度長岡市一般廃棄物処理実施計画(案)が承認された。</p>
<p>8 審議の内容</p>	
<p>環境業務課 課長補佐</p> <p>会長</p> <p>環境部次長 環境業務課長</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境部長あいさつ</li> <li>・ 資料確認</li> </ul> <p>ただいまから第11次第4回長岡市廃棄物減量等推進審議会を始めます。次第の「2報告事項」、「(1)有害危険物の名称変更について」、「(2)鳥越クリーンセンターの火災について」、「(3)小型充電式電池の回収について」、「(4)食品ロス削減に向けた今後の取り組みについて」これらを一括して説明していただき、最後にまとめてご意見、ご質疑をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは事務局の方から説明をお願いいたします。</p> <p>(報告について資料1から4により説明)</p> <p>ただいまの説明について、ご質問、ご意見等はございませんか。</p> <p>資料3について、電池に対して出し方が難しいという感じはあります。今、見せていただいた電池類を見て、小型充電式電池はそういう物なんだと、電池に対して知識がないため難しいかなという感じはします。</p> <p>私もうっかり見落としとしてたものがあるのかなと思いました。ご家庭の中でこれもそうかなというものがあると思います。防災用の手回しのライトも小さいバッテリーが入ってると思いますが、パッケージの中で取れないため燃えないごみあるいは危険物に入れてしまうことがあると思います。</p>

<p>環境部次長</p>	<p>隠れていて分からない物が家庭に必ずあると思います。  どのよう市民の方に理解してもらおうかという広報の仕方、これはすごく大事な事だと思います。  小さいものですし、日常的に気がつかないものなので分別が難しいです。  委員もおっしゃいましたが、わかりやすい表示をしていただけると効果上がるのかなと思いました。</p> <p>リチウムイオン電池等を使っている製品にはどんな物があるのかというと、充電してる小型家電はすべて該当すると思ったほうがいいです。  髭剃りシェーバー等も充電していますが、要はコンセントから続いてないものはすべて電池が入っています。  ビデオカメラもそうですし携帯電話もバッテリーが使われておりますので、基本的には充電をして使うものには必ずリチウムイオン電池のようなものが使われていると思えば間違いのないと思います。  今回、市の方で収集するのは取り外せる電池類、また、製品となっているものは電子タバコモバイルバッテリーです。  小型家電については、基本的には販売店の方に出していただくことを今の時点では基本にさせていただきたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>その辺も含めて、広報をよろしくお願いします。  その他、食品ロス削減について市の取り組みをお話いただきましたが、事業者としてどのような対応されているのかこの機会にお話しいただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>食品ロスに関しまして、事業所はどのような取り組みをしているのかという事ですが、特別なことは実はしていません。  なぜしてないかと言いますと、ホテルなどは原価を見る購買部があり、サービスに携わる料飲部があり、調理部があることから、原価を管理するシステムが構築されており、原価をかけないことがイコール利益に直結するわけです。  ですから食品ロスを出すような、無駄な使い方は基本的にしません。  ビュッフェ料理に関しましては、皆さんに代金をお支払いいただいて、召し上がっていただいておりますので、例えば12時から2時の営業だとしても、2時5分前にこられても、無駄なようですがお料理はすべてそろえておく必要があるわけです。  そうしますと品数を減らせばいいじゃないか、或いは販売価格を調整すればいいじゃないかというご意見もあるかもしれませんが、そうはいかないというところなんです。  では、通常のコースや会席で残された物を持って帰らせてはいただけないか、とのご要望もあるのは確かですが、保健所は禁止してはおりませんが、万が一食中毒になったとしますと、自己責任ですよ、ということをご説明したとしても、病院に行かれて何を召し上がられましたか？ホテルなどのものを持って帰りましたということになると、風評被害は免れません。  あるいは、厨房を1週間ほど停止するなどの処分が発生するケースもあります。  そうしますと、例えば200名の講演会、100名の婚礼等食事が伴う宴会はすべて中止せざるをえなくなります。  そこまでのリスクを負ってまでホテルがそういうことに取り組むかということ、現状では考えにくいです。  昔は料亭などに行かれて、持って帰られたケースもあったかと思えますけ</p>

会長

ども、その当時とは、保健衛生の厳しさが全く違います。

ただし、個人経営のレストランなどは、大規模店と比べますとリスクが低く、ホテルとの比較はし難いと思います。

次に3010運動についてですが、長野県が2011年ぐらいにスタートした取り組みだと思うのですが、乾杯から30分とお開き10分前は座って食べましょうという取り組みですけれども、これもホテルの立場では言えないわけです。主催者から宴席前にご説明して頂くのが良いと思います。

食品ロスの最大の要因は、ホテルであつたり料亭であつたりという考えを持たれている方が多いようですが、ご承知の通り家庭から出るのが50%以上です。

ホテルのレストランにいられてそんなに残されるかということ、宴会以外はそんなに残されることはほとんどないですから、そんなにでてないということだと思います。

それと最後に、食品ロスというのはマナーだと思います。

例えば、某アジアの国の方は、朝食のバイキングで食事をされると、テーブルの上にお料理をたくさん残されて帰っていかれます。それがその国のマナー、美味しくいただきましたという作法なのです。

某ヨーロッパの方っていうのはその点、まずテーブルの上に残されません。日本人はどうかというと、実は残される方が多いです。

最後にホテルで食べきれなかった料理を、もし持ち帰られたとしましたら、果たしてそれはどのようなのでしょうか？お父さんが宴会の後、10時ぐらいに持って帰ってきたとしますと、家族の方は召し上がられるのでしょうか？コンビニ等が充実している現在、まず召し上がらないと思います。そうすると、どこで捨てるか？結局は家庭で捨てるという方向に行くと思うのです。

だから非常に難しいテーマで、賞味期限、消費期限が切れたものは、今の若い人は絶対食べないと思うのです。

ご承知の通り、SDGsなど、もっと世界が取り組んでいることは沢山あるわけです。

その中に、飢餓をなくそうとか、その一つが食品ロスというところに繋がりますので、ここだけを特化して取り上げるのもいかならないというのは、求められている意見とは反しますが感じました。

ありがとうございました。

事業所にもいろいろ形態がありますので、ホテルさんとか多いマスで扱えるところは非常に経済的な部分を考えられているということがよくわかりました。

ごみの問題もこの部分をやればどうにかなるというものではないとは思いますが。全部構造的なものなので。

ただ、市民がそれを一つ一つ丁寧にやっていくことが、遅いですが一番確実性があるなと思います。

こういう委員会もそのために開かれているというように理解するところが一番かなと思います。

おいしいものはすぐなくなってしまうので、逆にそれはいいことで、残りがなくなるといいことなんだと思いました。

それと乾杯の音頭ですね、私もよく取りますが、3010（サンマルイチマル）をできるだけ主催者側で言おうと思います。

ほかに何かご意見はございませんか。

よろしいでしょうか。

それでは次第の3「議題」に入りたいと思います。

<p>環境部次長 環境業務課長</p>	<p>令和2年度長岡市一般廃棄物処理実施計画について審議したいと思ひます。 事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>(資料5、6により説明)</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 何かご質問等ございませんか。 委員いかがですか。</p>
<p>委員</p>	<p>今ほどのお話で、啓発に環境教育の促進とありました。 大人を対象とした啓発事業は、もう結構なんですけど、市の方で小学校の子供たちを対象に説明や施設見学をしてもらい、ごみをなくすことで地球の温暖化が少しでも良くなり、これからの社会が良くなるという教育をしてもらいたいと思ひましたがいかがでしょうか。</p>
<p>環境部次長</p>	<p>実は長岡市内の小学校、大体4年生になりますと、必ずこちらの施設に学校単位で来てもらいまして、焼却場、ビン・缶・ペットボトルの中間処理場、生ごみバイオガス発電それぞれの施設を見学し、環境についての勉強をしていただいております。 小学生の皆さんから勉強した成果を手紙に書いて、私どもの方に送っていただいたりしております。 そういう形で、小学生に毎年こちらに見学に来ていただいております。 ご家庭に帰っていただいて、お父さんお母さんにこういう勉強して来たよ、分別大切だよということを話していただいて、家族みんなで環境について考えていただく機会をつくっております。</p>
<p>会長</p>	<p>大人も案外知らないことが多いもので、私も委員をさせていただいて、プラスチックの分別処理施設を見に行きましたが、小学生の皆さんは見学されますか。</p>
<p>環境部次長</p>	<p>寿の施設と鳥越が中心です。 プラスチックの処理施設については、民間に委託をしておりますので見てないと思ひます。</p>
<p>会長</p>	<p>今、世界的にはプラスチックの問題が非常に多く出てまして、国によってはもうペットボトルを使わない、ヨーロッパの方で国もそういう施策をしているところも出てきています。 私もペットボトルやマヨネーズの容器とかプラスチックの容器で、非常に分別が難しくて手作業で行っているのを見せていただいて、改めて大変な作業だということを感じました。 ああいう現場は、もう少し見ていただいた方がいいのかなと思ひました。 ペットボトルの外側のフィルムをとって分別するという些細なことなんですけど、そういうことはまだまだできることなのかなと思ひます。 先ほど温暖化という話がありましたが、地球規模で海の汚染も含めて非常に重要なことは、排出するところから始まる感じがします。 長岡市はそれを非常によく取り組んでいらっしゃるんで、もっと広報に生かしていただけると良いと思ひます。</p>

<p>会長</p>	<p>他のご意見はいかがですか。  それでは今後、市で実施計画を決定しまして、来年度の実施ということになりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして次第の4「その他」に入らせていただきます。  先月11日にごみに関する記事が掲載されました。  お手元に資料がございますがこの記事をご覧くださいまして、ごみの減量と分別意義の浸透について、いろいろご意見をお聞きしたいと思います。  1ヶ月半ぐらい前に記者の方が見えて、聞かれて行きました。  当初は記事になることがわからなかったのですが、読んでみますと、燃やすごみの収集回数が少なくなって市民が不満を漏らしてるというところが、記事の重要なところらしいですが、私はそういうことは、耳に入っておりませんという話をしましたし、逆に言うと、長岡市がどのようにその分別に取り組んでいるのかというのは、この委員会の委員の1人として長い間携わってまして、長岡市はそれについて非常に前向きに取り組んでいますという意見は申し上げました。  ただ、実際ここにあるように、ごみの出し方もそうですが回数の問題というのがかかり記事になっておりますので、皆様何か気になる面やそれぞれの地域でこういう問題があったのかなとか、関連するようなことがございましたらご意見をいただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>委員いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>この記事を読むと週3回にふやして欲しいなど回数が少ないという意見が出ていたのですが、私個人的には少なくないと思っています。  今、十分対応していただいて不満はないと言う意見も市民の中にはあると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。  委員いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>生ごみのほうはいいのですが燃やすごみがたまってしまう。  夏場になると虫がわいたりしてなどとは思いますが、今の現状を聞いていると家庭の方で少しでも何か考えていきたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>やはり、ご家族が多いと時によっては溜まってしまうというお話もありました。  事務局は、この辺の現状はどうご理解されていますか。</p>
<p>環境部長</p>	<p>昨年9月の市議会の一般質問で諏佐議員から質問されましたが、支援者の中にもそのような方がいらっしゃいました。  市外から転入してこられた方は、市外だと生ごみは分別しないで燃やすごみの回数があったわけです。  私どもは燃やすごみの収集経費を増やさないということで、このような体制になっています。  1回増やせば約1億3000万増えますので、それを税金からということは厳しいという中で、皆さんからご協力をいただいています。  諏佐議員を支援された方々は、直接我々から話を聞く機会がなかったため、議員からそのような機会を設定していただいて趣旨を説明しました。  私どもの考え方全体が分かったら、それならむしろ積極的に協力しなくち</p>

